

「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」（仮称）最終案及び「第二次三重県行財政改革取組」（仮称）中間案に基づく今後の「県政運営」等に関する申入書

平成28年1月27日

三重県議会議長	中村進一
三重県議会副議長	中森博文
総務地域連携常任委員会 委員長	藤根正典
戦略企画雇用経済常任委員会 委員長	田中智也
環境生活農林水産常任委員会 委員長	東 豊
健康福祉病院常任委員会 委員長	石田成生
防災県土整備企業常任委員会 委員長	中村欣一郎
教育警察常任委員会 委員長	小島智子

平成27年11月24日に開催した全員協議会において、県当局から、「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画」（仮称）最終案及び「第二次三重県行財政改革取組」（仮称）中間案が提示されました。これに先立って実施した「第二次行動計画」（仮称）中間案及び「次期の行財政改革取組」素案に関する知事への提言では、ビジョン関係で重点取組や県民指標などを、行財政改革取組関係で人づくり改革や組織風土づくりなどの項目について申し入れを行ったところであり、県当局からは、今回、提示された第二次行動計画（仮称）最終案等の提示に併せて、これら提言項目についての回答も受けたところです。

今回、これらの提言項目に対する回答も踏まえたなかで策定された「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画」（仮称）最終案等の説明を受けて、県議会としては、地方自治の本旨に基づく県民の負託に的確に答えるため、再度、全員協議会や各行政部門別常任委員会において、更なる詳細な調査を行ってきました。

知事におかれましては、次に掲げる事項を、県民の皆さんや市町からの意見とあわせて、年度内に策定される「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画」（仮称）及び「第二次三重県行財政改革取組」（仮称）最終案に十分、反映されるよう申し入れいたします。

# 1 「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」（仮称）最終案 について

## （1）目標の設定について

「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」（仮称）中間案の知事申入れにおいて、県民の立場からみて分かりにくい指標が設定されていることから、より県民の視点に立った分かりやすい指標となるよう要望をしたところであります。

しかしながら、施策121「地域医療提供体制の確保」に掲げる目標項目など、最終案においても県民の立場からは分かりにくいと思われる指標が設定されていることから、更なる検討を重ね、県民にとって真に理解されやすい指標とすることを要望します。

また、目標値の設定について、人数や件数などの数値を増やしていく指標は、その数値の占める割合がどのくらいあるのか確認できるよう、可能な限り全体数を明記し、実質的な進捗状況の把握ができるよう要望します。

## （2）「新しい豊かさ」における県民の実感について

「第二次行動計画」（仮称）において、「新しい豊かさ」が、「経済的な豊かさ」、「社会のシステムやつながりの豊かさ」、「精神

的な豊かさ」の3つの豊かさ全てを高めていくことで、享受できる豊かさであることと新たに定義されましたが、この「新しい豊かさ」について、県民が理解し、実感できるようにしていく必要があります。

そこで、「新しい豊かさ」をはかる新たな指標を設定するなど、県民の「新しい豊かさ」についての実感が多く得られるよう検討されることを要望します。

### (3) 「新しい豊かさ・協創の視点」について

「協創」は、一人ひとりの個人をはじめ、NPO、ボランティア、地域の団体、企業及び行政それぞれが「公」を担う主体として自立し、行動することで、協働による成果を生み出し、新しいものを創造していく概念であり、本県の県政運営を進めていくうえで重要な考えの一つであります。

しかしながら、「第二次行動計画」（仮称）で追加された「新しい豊かさ・協創の視点」に記載されている内容は、「協創」の視点からの記述が不明確なものもあることから、実際に、県民とどのように協創を行っていくかが読み取れる内容となるよう検討されることを要望します。

## 2 「第二次三重県行財政改革取組」（仮称）中間案について

### （1）行財政改革取組の全般関係

今回の「第二次三重県行財政改革取組」（仮称）中間案では、「協創・現場重視の推進」や「機動的で柔軟かつ弾力的な行財政運営」、「残された課題への的確な対応」の3つの柱ごとに、それぞれ具体的な行財政改革の取組が提示されたところです。

これらの具体的な行財政改革取組は、それぞれ最終的には県民の皆さんへの多様なサービスを向上させていくことにも繋がっていくものであると考えられます。このことは、今後、個々の具体的な取組を進めていく前提においても、大変、重要なことであるため、最終案には、この部分をしっかりと明文化したうえで、更なる行財政改革の取組について検討を進められるよう要望します。

### （2）機動的な財政運営の確保

また、行財政改革の具体的な取組の一つとして、機動的な財政運営の確保に向けて、事業のスクラップアンドビルドの徹底など、総事業本数の削減に向けた取組を進められようとしています。

この総事業本数の削減が、真に機動的な財政運営の確保につながるよう、単に数量だけの取組とはせず、質の部分で、本当に効果の

あるスクラップアンドビルドがどれくらいできているのかがわかるように運営されるよう要望します。

### **(3) 職員のメンタルヘルス不調の未然防止などの推進**

更に、昨年12月からは、メンタル疾患の予防を予兆段階から更に強化していこうとするストレスチェック制度が義務化されたところではあります。

このため、本県においても、職員のメンタルヘルス不調の未然防止などを確実に図っていくことを行財政改革の取組の中でも検討されるよう要望します。



「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」

(仮称) 最終案 に対する意見

(各行政部門別常任委員会集約分)



## 「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」(仮称)《最終案》に対する意見

### ■ 総務地域連携常任委員会

施策番号	施策名	主担当部局	委員会意見
251	南部地域の活性化	地域連携部 南部地域活性化局	伊勢志摩サミットの開催を一過性のものとする ことなく、南部地域全体のさらなる活性化に つなげていくため、ポストサミットに向けた取 組をしっかりと進められたい。

番号	行政運営の取組名	主担当部局	委員会意見
行政運営3	行財政改革の推進による 県財政の的確な運営	総務部	基本事業40301の活動指標「総事業本数」に ついては、限られた県資源を最適配分するた めに、単に事業本数を削減するだけの取組に はせず、質の担保をどのように確保してい くのかという視点も重視して取組を進めら れたい。
行政運営6	情報システムの安定運用	地域連携部	基本事業40604の活動指標「携帯電話の不 通話地域の整備数」の目標値の設定につい ては、地域的に大変厳しいところが残され てきているという認識の中で設定された と思うが、地域の住民のため、更なる推 進に向けて取組を進められたい。

### ■ 戦略企画雇用経済常任委員会

番号	行政運営の取組名	主担当部局	委員会意見
行政運営1	「みえ県民カビジョン」の 推進	戦略企画部	県民指標等の目標値は、未達成の場合にも 説明責任を十分果たせるよう、数値の積み 上げなど具体的な根拠をもって設定する など検討いただきたい。

## 「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」(仮称)《最終案》に対する意見

### ■環境生活農林水産常任委員会

施策番号	施策名	主担当部局	委員会意見
312	農業の振興	農林水産部	新規就農希望者の中で有機農業を志す者もいることから、県としても、有機農業を推進する必要があると考えるがいかがか。また、そのことについて、ビジョン・行動計画への記述も考えてはどうか。

### ■健康福祉病院常任委員会

施策番号	施策名	主担当部局	委員会意見
121	地域医療提供体制の確保	健康福祉部	<p>県民指標の地域医療安心度指数は分かりにくく、指数を構成するアンケート項目のうち「地域医療に対する理解度」については、意図する理解度を示すのに有効なのか疑問が残る。</p> <p>地域医療における医師の確保数や全国比較した診療科別の数値など、医師の地域偏在、診療科目間偏在の解消をめざした具体的な実数を県の活動指標に掲げて取り組むことも要望する。</p>

### ■防災県土整備企業常任委員会

施策番号	施策名	主担当部局	委員会意見
113	治山・治水・海岸保全の推進	県土整備部	堆積土砂撤去を推進する一方で、土砂の発生を抑制する取組について、関係部局と情報共有のうえ連携し検討いただきたい。

## 「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」(仮称)《最終案》に対する意見

### ■教育警察常任委員会

施策番号	施策名	主担当部局	委員会意見
221	夢や希望をかなえる学力と社会参画力の育成	教育委員会	「県民の皆さんとめざす姿」から考えると県民指標の「全国学力・学習状況調査において全国平均を上回った教科数」はすぐわない。
			「全国学力・学習状況調査において全国平均を上回った教科数」を県民指標に用いるのがよい。
			「全国学力・学習状況調査において全国平均を上回った教科数」という県民指標では、「夢や希望をかなえる学力と社会参画力の育成」という施策を総合的に評価するものとはいえないので、全国学力・学習状況調査を用いるとしても、全国平均を上回った教科数だけでなく、児童生徒質問紙調査の項目も取り入れるなどして、施策を総合的に評価できるようにすべきである。
			キャリア教育の推進における目標項目が「高等学校(全日制)においてインターンシップを体験した生徒の割合」から「地域等の人材を招聘した授業等を行っている学校の割合」に変更されているが、「インターンシップを体験した生徒の割合」も重要であり、これも含まれるよう記載していただきたい。
223	健やかに生きていくための身体の育成	教育委員会	食育の推進にあたっては、朝食を毎日食べている子どもたちの割合だけでなく、朝食の内容、朝食を食べられない理由などにも注意を向ける必要がある。
226	地域に開かれ信頼される学校づくり	教育委員会	小規模校の適正規模、適正配置について、三重県教育施策大綱(仮称)における当議会からの意見への対応・回答において、「個別具体的な状況をふまえて検討が必要な事項」とあるので、その旨を記載していただきたい。

#### ※教育警察常任委員会が所管する主担当部局以外の施策

112	防災・減災対策を進める体制づくり	防災対策部	教育委員会が主担当となる基本事業11206「教育施設の防災対策」について、現状値と目標値の関係の説明が不足しており、誤解を生じやすいため、記述を工夫していただきたい。
-----	------------------	-------	---